



デザインしたガーデンの前で特徴などを説明する假屋崎さん

愛の庭 恋人と一緒に

華道家・假屋崎さんデザイン

今治タオル美術館で披露

開館16周年を迎えた

今治市朝倉上のタオル

美術館 I C H I H I R

Oで29日、「恋人の聖

地セラライト」の認定

記念イベントが開か

れ、華道家の假屋崎省

吾さんがデザインした

恋人の聖地ガーデンが

お披露目された。

「恋人の聖地プロジェクト」を展開するNPO法人地域活性化支援センター（静岡市）が全国の観光地の中からプロポーズにふさわしくロマンチックな場所を選んでおり、タオル美術館は昨年12月1日に認定を受け

た。

假屋崎さんは、幸せの鐘の両側にある二つの花壇をデザイン。周囲には新芽が明るい黄色のオウゴンマサキを配置し、キンカンやドウタンツツジのほか、色とりどりの花を植えた。日本語で愛の庭という意味のフランス語「ルジャルダンダムール」と名付けた。

「恋人の聖地」選定委員でもある假屋崎さんは「運氣がアップするといわれる黄色をたくさん取り入れた。ヨーロッパの高原のような雰囲気のカーデンに大切な人と来てほしい」と話した。

假屋崎さんによるフラワーデモンストレーションもあり、大勢の人でにぎわった。

（亀井咲希）